



学校便り
No.1

万里一空

令和6年4月9日(火)

文責：池田 誠

本日、新学期が始まりました。始業式での子どもたちの表情から、一つ上の学年に進級したワクワク感が伝わってきます。新しい仲間や先生との出会いをドキドキ、ワクワクしながら待っていたことでしょう。それは、教職員にとっても同じです。新しい子どもたちとの出会いをとても楽しみに待っていました。子どもたちと教職員にとって新たな1年の始まりです。両者ともよいスタートがきれるよう、始業式では、卒業式で話した「人と人の間（あいだ）を大切にすることの大切さ」について語りました。

人と人の間（あいだ）を大切にしよう



子どもたちに若手職員のロールプレイを見せながら、人と人の間に何があるかを考えてもらいました。子どもたちからは、「あいさつ」「言葉」「会話」などの答えが出てきています。人と人の間にあるのは、言葉や言葉を介した気持ちによる繋がりです。特に小学校段階では、

- ※ 「おはよう」「こんにちは」「はい」など、挨拶や返事の言葉で他者と気持ちよく繋がる。
- ※ 感謝の気持ちを「ありがとう」という言葉にして発信する。
- ※ 他者に迷惑をかけたら、素直に「ごめんなさい」と口にして謝る。
- ※ 授業では、自分の考えや思いを発信する。他者の考えや思いをしっかり聴く。

ことについて話をしました。特にあいさつの大切さについては、私自らロールプレイに参加しました。

| | |
|-----------|-----------------------------|
| 児童 A (校長) | おはようございます。(明るく元気な声で) |
| 児童 B (職員) | おはようございます。(お辞儀をして、明るく元気な声で) |
| 児童 A (校長) | 心の声 (よっしゃー、今日もがんばろう) |

| | |
|-----------|--|
| 児童 A (校長) | おはようございます。(明るく元気な声で) |
| 児童 B (職員) | (無視)..... |
| 児童 A (校長) | 心の声 (具合でも悪いのかな。でも、自分も気分が落ち込むなあ) |



あいさつ一つでも、気持ちよく人と繋がる場合と、そうでない場合があることを示しました。そして、この1年間、人と人の間にある繋がりを大切にして、楽しく学校生活を送ってほしいと伝えています。

新しい8人の職員が 就任しました

新聞やネット等ですすでにご存知とは思いますが、武蔵小学校に8人の新しい職員が赴任いたしました。(本日配付しましたプリントをご参照ください。)武蔵小学校に新しい風を吹かせていただけることと思います。どうぞ、よろしくお願いいたします。

学校だより「万里一空(ばんりいっくう)とは？」



『五輪書』は、宮本武蔵が人生最期に残した長年の修行で得た精神的境地を綴ったものです。この書では、「山水三千世界を万里一空に入れ、満天地ともまとめる(世界はひとつの空のもとにあり、どこまで行っても同じ世界である)」と書き、「心迷わず精神を修養し、身体の鍛錬を極めれば目標に到達できる」ことを表しました。それが転じて、「**目標や目的に向かって、やるべきことを見失わず努力し続けること**」という意味で「**万里一空**」が使われるようになったと言われています。

令和6年度におきましても、職員一同「万里一空」の姿勢で頑張っている所存です。どうぞ、本校の教育活動にご理解ご協力をよろしくお願いいたします。